

# 学校紹介 新聞

# 茨城町立 葵小学校



◆校長 浅野尚子  
◆児童数 307人  
◆創立 2016年  
◆住所 茨城町長岡3715

牛乳パックリサイクルに取り組む児童



SDGs  
実現へ

## 牛乳パックリサイクル

葵小では、給食委員会が中心となって給食の牛乳パックのリサイクルを始めました。毎日45%ごみ袋に3袋分もあったごみが1袋に収まるようになりました。毎日約240枚の牛乳パックは、当番児童が地域にある茨城補成会あつまれガッツ村の施設に持って行きます。施設のみなさんが、牛乳パックを再利用してはがきを作っています。学校では、アートクラブの児童が、施設からいただいたはがきに絵や言葉をかいて、父の日に「梅雨見舞い」の手紙を送りました。「捨てればごみ」が役立つ物に生まれ変わることに驚きました。これからも、環境問題に関心を持ち、葵小学校の伝統として牛乳パックのリサイクルを続けていきます。(6年 米川陽翔、小泉新汰)



米川陽翔



小泉新汰

こんな学校です!



水質調査の児童

## 地域の大切な涸沼を守る

葵小の学区にある涸沼で、私たちは釣りやキャンプを楽しんでいます。葵小では、大切な涸沼を守るために三つの活動をしています。一つ目は、ホテルの里づくりです。地域のひと協力して、幼虫を食べるアメリカザリガニを捕まえ、ホテルを呼び戻す活動をしています。



藤枝歩楓



豊田那奈

二つ目は、水質調査です。7月と12月に広瀬公園と親沢公園でCOD(化学的酸素要求量)の数値を調べます。12月は7月より数値だけでなくにおいや濁りが減ります。三つ目は、プレゼンです。活動を通して学んだことを、校内や茨城町、鉾田市の児童に発表しています。去年は、つくば市や台湾の児童とも交流しました。地域の宝である涸沼のことを多くの人に知ってもらい、その環境を守るために、葵小の児童はこれからも一生懸命に努力します。(5年 藤枝歩楓、豊田那奈)



ICTを活用して学習する児童たち

ICT活用

## 学習、生活に役立てる

葵小学校は、学校情報化優良校です。ICTを活用した学習に力を入れています。国語では、情報を整理してデジタルポスターを作って発表しました。算数でデジタル教科書を使うと、図形やカードを操作できるので、いろいろな方法を試すことができます。理科の実験結果を比べたり、社会科で調べ学習をしたり、友達の考えや情報を共有しながら学習ができるようになりました。理解が深まっています。また、デジタルドリルや学習ソフトが充実しているので、授業内容を家で復習することができます。テスト勉強などにも役立てています。葵小学校では、図書委員の読み聞かせ動画や給食委員会からのお知らせ、集会活動など、幅広い場面でICTを活用しています。学習に生活に、私たちの可能性が広がっています。(6年 会沢唯那)



会沢唯那

## 地域との交流



米を収穫する様子

米作り、シジミ漁体験



林翔琉

葵小学校では、地域の方々に協力をいただいて、総合的な学習の時間の学習を進めています。5年生は、米農家に教えていただいて、米作りに挑戦します。知らないことばかりですが、手本を見たり、手伝っていただいたりしながら学んでいます。自分たちが学校田で育て、収穫した米は、家庭科の時間に調理しました。甘くておいしいおにぎりでした。夏休みには米作り以外にも、地域の方へのインタビュー活動や体験活動でお世話になっています。ほくは、涸沼でシジミ漁をしている方をたずねました。浅瀬でのシジミ漁体験でさへ網が重く感じられ、漁の大変さを知りました。帰って食べたシジミ汁の美味しさは忘れられません。地域の学習を深めることが、地域の人や宝を自慢したい気持ちにつながっています。(6年 林翔琉)

次回は8月23日 龍ヶ崎市立龍ヶ崎中学校です

## 茨城新聞 第14回 新聞感想文コンクール

新聞を読んで感じたこと  
あなたの言葉で書いてみよう



**応募資格**  
小中学校や高校に在学する児童・生徒。  
小学1～3年、小学4～6年、中学生、高校生の4部門

**応募課題**  
2023年1月以降に載った新聞記事を読んでの感想。  
小学1～3年生は家族に記事を読んでもらい、感想を作文にしたものでも結構です。  
※著作権は茨城新聞社に帰属します。作品の返却はしません。

**応募方法**  
①学校単位でも個人でも応募可能(未発表作品1人1点に限る)  
②募集要項チラシ裏面の専用の原稿用紙(コピー可)か、市販のB4版400字詰め原稿用紙を使用してください。  
③専用の原稿用紙の場合は、記入欄に必要な事項を書くこと。  
市販の原稿用紙の場合は、1ページ目の1行目に題名、2行目に学校名、学年、3行目に氏名(ふりがな)、4行目に新聞名と掲載日を記入し、5行目から書き始めてください。作品の最後に住所、電話番号、保護者氏名を記入してください。  
④原稿用紙と同じ大きさ(B4)の紙に、読んだ記事(コピー可)を貼り、原稿とセットして送付する。  
⑤小学1～3年生は400～600字、小学4～6年生は600～800字、中学生、高校生は800～1200字。  
⑥学校単位で申し込む際は、学校名と応募児童・生徒の名簿(漢字・ふりがな)、担当教諭名、連絡先を添付してください(体裁自由)。

**応募先**  
〒310-8686 水戸市笠原町978-25  
茨城新聞社販売局 新聞感想文コンクール係

**表彰**  
①文部科学大臣賞、知事賞、県教育長賞、茨城新聞社長賞、茨城会長賞など。  
②上位入賞者は、2023年12月、茨城新聞の紙面で発表します。  
③表彰式は、2024年2月3日(水)に水戸市内で開催予定です。

**応募締切**  
2023年11月6日(必着)

ご自宅で新聞を購読されていない方は茨城新聞を7日間無料お試し読みできます。  
お申し込みは ☎0120-029-218

主催:茨城新聞社、茨城新聞茨城会 ■後援:文部科学省、茨城県、茨城県教育委員会  
協力:県新聞教育研究会、県教育研究会、県学校長会、県高等学校長協会、県PTA連絡協議会、県高等学校PTA連合会、県私学協会

お問い合わせ

茨城新聞社販売局 新聞感想文コンクール係  
TEL029(239)3030 平日9:00～17:00

お申し込み ☎0120-029-218

